

2026 年 2 月 5 日

報道関係各位

株式会社 O K B 総研

お米に関する女性の意識調査報告

O K B グループのシンクタンク株式会社 O K B 総研(大垣市郭町 2-25 社長 小川真二)は、標題のアンケートの結果を取りまとめたのでご紹介します。

《要約》

- お米を食べる頻度は「毎日・1日に2回」が 50.1%
約 9 割の人がお米を毎日食べる
- お米を入手する場所は「スーパー」が 58.0% 「家族・親戚・知人等から入手」は 29.8%
- お米選びで最も重視するのは「国産かどうか」次いで「味や食感」、「安全性」
- お米の品質や信頼性など全般を重視する「こだわり派」が主流
- 妥当だと思うお米の価格（5 kg あたり・税込）は「3,000～3,499 円」
- 約 4 割の人はお米の価格が上昇しても購入や食べ方に変化はなかったと回答
変化があった人は「より安価なお米を選ぶようになった」
- お米の価格上昇に対し「家計の負担が大きいと感じる」人は 65.2%

【調査概要】

1. 調査期間：2025 年 11 月 10 日～11 月 14 日
2. 調査方法：O K B 大垣共立銀行本支店（東京・大阪を除く）に来訪した女性 805 名に
アンケート用紙を配布・回収（無記名方式）
3. 有効回答者数：793 名（有効回答率 98.5%）
4. 回答者属性：

年代	20歳代以下	7.9%
	30歳代	22.2%
	40歳代	21.5%
	50歳代	25.9%
	60歳代以上	22.5%
住所	岐阜県	51.6%
	愛知県	43.7%
	三重県	3.3%
	滋賀県	1.1%
	その他	0.3%
就業 形態	専業主婦	7.3%
	正社員・公務員・自営業	50.5%
	パートタイマー	38.5%
	その他	3.7%
生活の ゆとり	ゆとりがある	29.7%
	ゆとりがない	70.2%

5. 集計結果表記：数値は四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合がある。

※調査結果詳細については次頁以降をご参照下さい。

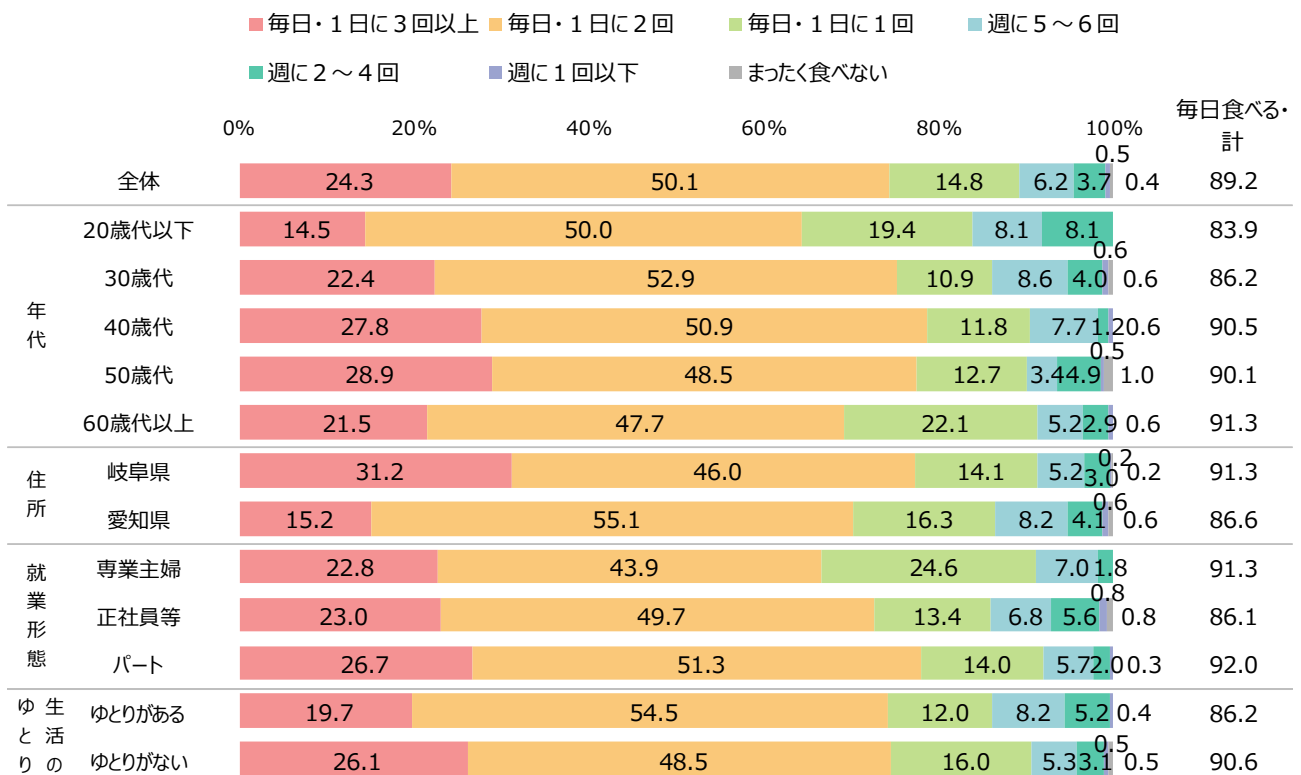
資料配布場所：名古屋証券取引所・金融記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ
【本件に関する問合せ先：O K B 総研 調査部 梅木 TEL 0584-74-2615 FAX 0584-74-2688】

1. お米を食べる頻度

「あなたが普段、お米を食べる頻度はどれくらいですか」と尋ねたところ、「毎日・1日に2回」が50.1%で最も高く、次いで「毎日・1日に3回以上」が24.3%となった。「毎日・1日に3回以上」「毎日・1日に2回」「毎日・1日に1回」を合わせた『毎日食べる』は89.2%に上った（図表1）。

属性別に見ると、『毎日食べる』はいずれも8割を超えている。「毎日・1日に3回以上」は岐阜県が31.2%であるのに対し、愛知県は15.2%と約2倍の開きがあった。

図表1 お米を食べる頻度



2. お米を入手する場所

お米を食べると答えた人（前問「お米を食べる頻度」で「まったく食べない」以外を選んだ人）に対し、「あなたが普段、お米を買う（入手する）場所はどこですか」と複数回答で尋ねたところ、「スーパー」が 58.0%で最も高く、次いで「家族・親戚・知人などからもらったり買ったりする」が 29.8%となった（図表 2）。「家族・親戚・知人などからもらったり買ったりする」や「自身で栽培」のみを選択した割合『縁故米・自家栽培のみ』は 20.0%だった。『縁故米・自家栽培のみ』および「その他」「お米を炊かない」を選択した人を除いた割合『流通米入手』は 78.7%となった。

属性別に見ると、いずれも「スーパー」が最も高くなった。また、「スーパー」は愛知県が 71.9%と、全体に比べて 10 ポイント以上高くなっている。また、「家族・親戚・知人などからもらったり買ったりする」は 20 歳代以下が 40.3%と全体に比べて 10 ポイント以上高い一方、60 歳代以下は 17.3%と全体に比べて 10 ポイント以上低くなっている。

図表 2 お米を入手する場所

		※複数回答(%)												
		スーパー	家族・親戚・知人等から入手	生産者から直接購入	ドラッグストア	ふるさと納税	農協・直売所	インターネット通販サイト	生協	自身で栽培	専門店	コンビニエンスストア	その他	お米を炊かない
全体		58.0	29.8	13.4	12.1	12.0	9.3	4.2	3.4	2.9	2.6	0.3	1.1	0.4
年代	20歳代以下	53.2	40.3	6.5	9.7	11.3	1.6	3.2	0.0	1.6	4.8	1.6	1.6	0.0
	30歳代	62.4	38.2	9.2	14.5	22.0	2.9	7.5	5.8	0.6	1.2	0.0	1.2	0.6
	40歳代	59.2	31.4	11.8	14.8	14.8	8.3	3.0	1.8	3.0	1.8	0.0	0.6	1.2
	50歳代	57.4	28.2	17.3	14.9	7.9	11.9	4.0	4.0	3.0	2.5	0.0	1.5	0.0
	60歳代以上	55.5	17.3	17.3	5.2	4.6	16.2	2.9	3.5	5.8	4.0	0.6	1.2	0.0
住所	岐阜県	48.1	33.7	18.4	9.9	8.7	12.2	4.5	2.7	4.5	2.0	0.2	0.7	0.0
	愛知県	71.9	24.9	7.3	14.9	16.1	5.6	3.5	4.7	1.2	3.2	0.3	1.2	0.9
就業形態	専業主婦	56.1	21.1	28.1	10.5	12.3	8.8	3.5	0.0	7.0	3.5	0.0	1.8	0.0
	正社員等	60.8	33.1	9.2	12.5	14.0	5.6	4.8	3.8	2.3	2.5	0.5	1.8	0.8
	パート	55.8	28.2	14.3	13.0	10.3	13.0	4.0	4.0	3.3	2.7	0.0	0.0	0.0
生活のゆとり	ゆとりがある	56.2	34.3	13.3	9.9	15.0	9.4	5.2	3.0	2.6	3.4	0.4	1.3	0.4
	ゆとりがない	58.7	27.9	13.5	13.1	10.7	9.3	3.8	3.6	3.1	2.2	0.2	1.1	0.4

(注1)太字は各属性で最も回答率が高い項目。

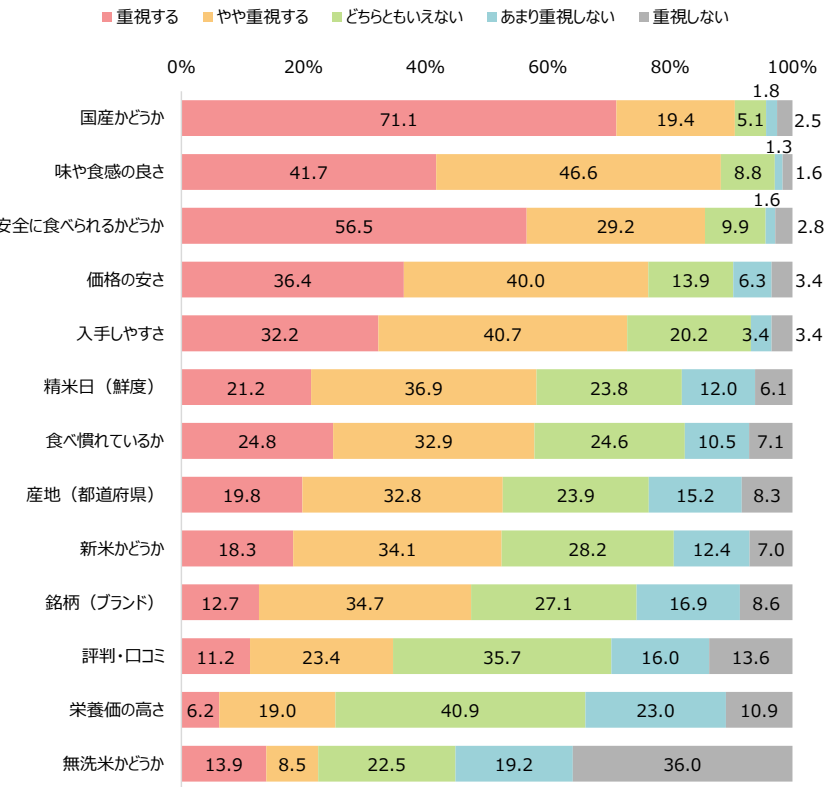
(注2)全体との差が、■は+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は▲10ポイント以下、■は▲5ポイント以下。

3. お米選びで重視すること

「あなたがお米を買う場合、重視すること」について尋ねたところ、「重視する」と「やや重視する」を合わせた『重視する』は、「国産かどうか」が 90.5%で最も高く、次いで「味や食感の良さ」が 88.3%、「安全に食べられるかどうか」が 85.7%となった。「国産かどうか」については「重視する」が 71.1%に上った。一方、『重視する』が最も低いのは「無洗米かどうか」で 22.4%だった（図表 3）。

『重視する』について属性別に見ると、20 歳代以下は「価格の安さ」、30 歳代、岐阜県、縁故米・自家栽培のみは「味や食感の良さ」、それ以外は「国産かどうか」が最も高くなった。年代別では、20 歳代以下は全体を下回る項目が多い一方、60 歳代以上は全体を上回る項目が多い（図表 4）。

図表 3 お米選びで重視すること



図表 4 お米選びで重視すること（重視する+やや重視する）

		重視する+やや重視する(%)												
		国産	味や食感	安全性	価格	入手しやすさ	精米日	食べ慣れ	産地	新米	銘柄	評判	栄養価	無洗米
全体		90.5	88.3	85.7	76.4	72.9	58.1	57.7	52.6	52.4	47.4	34.6	25.2	22.4
年代	20歳代以下	81.6	75.0	81.6	88.4	73.3	31.6	53.3	26.7	33.4	30.0	30.0	15.0	23.4
	30歳代	87.1	87.8	84.2	84.3	67.2	48.5	45.0	47.4	48.0	45.0	26.3	23.4	25.3
	40歳代	90.3	89.6	87.7	76.4	75.6	58.6	55.5	48.7	48.7	43.6	32.4	22.5	18.3
	50歳代	93.0	92.4	86.4	72.4	71.2	61.3	59.3	62.0	55.5	54.3	37.1	29.3	21.1
	60歳代以上	94.5	88.3	86.9	68.5	78.6	73.9	72.5	60.5	64.7	53.5	45.9	29.0	25.3
住所	岐阜県	89.1	89.7	84.6	74.1	74.2	61.1	61.8	53.9	53.6	46.7	37.1	28.1	21.7
	愛知県	91.4	86.3	86.7	80.2	70.6	54.4	52.6	50.8	51.2	49.0	31.8	20.6	22.8
就業形態	専業主婦	94.3	86.8	90.4	65.4	77.0	64.7	71.1	52.8	69.2	49.1	46.1	28.8	13.4
	正社員等	87.8	85.7	83.9	76.6	71.5	51.7	51.0	51.3	51.3	47.6	30.1	20.4	26.1
	パート	93.5	93.2	87.9	79.6	74.2	65.3	62.9	53.6	51.7	49.0	39.3	30.5	19.6
生活のゆとり	ゆとりがある	91.7	84.7	83.4	71.2	71.9	54.8	57.5	50.2	59.4	48.2	33.7	23.6	23.6
	ゆとりがない	90.0	89.9	86.7	78.8	73.2	59.5	57.6	53.5	49.5	47.0	35.0	25.8	21.9
お米の入手	流通米入手	92.2	89.3	86.2	79.1	73.9	59.6	56.5	53.8	52.5	48.5	33.8	24.2	24.8
	縁故米・自家栽培のみ	85.7	85.9	85.0	67.9	70.5	54.0	65.4	48.9	53.6	42.7	38.9	30.3	12.3

(注1)太字は各属性で最も回答率が高い項目。

(注2)全体との差が、■は+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は▲10ポイント以下、■は▲5ポイント以下。

似ているデータ同士をいくつかのクラスター（グループ）に分類する「クラスター分析」を行ったところ、品質や信頼性など全般を重視する「こだわり派」、大きなこだわりはない「ほどほど派」、価格の安さを重視する「コスパ派」、お米へのこだわりが少ない「非こだわり派」の 4 つに分けられた。構成比は、こだわり派が 41.7%で最も高く、次いでほどほど派が 30.5%、コスパ派が 21.2%、非こだわり派が 6.6%となった（図表 5）。

図表 5 お米選びで重視することのクラスター分析

クラスター名		こだわり派	ほどほど派	コスパ派	非こだわり派
構成比		41.7%	30.5%	21.2%	6.6%
重視すること	価格	-0.06	-0.30	0.53	0.06
	味や食感	0.44	-0.07	-0.27	-1.57
	産地	0.64	0.08	-0.92	-1.46
	栄養価	0.63	-0.07	-0.75	-1.21
	銘柄	0.60	0.22	-1.00	-1.59
	国産	0.42	-0.06	-0.12	-2.01
	新米	0.61	0.04	-0.74	-1.67
	精米日	0.62	-0.08	-0.58	-1.67
	無洗米	0.27	-0.04	-0.33	-0.46
	安全性	0.50	-0.33	0.20	-2.27
	入手しやすさ	0.44	-0.48	0.20	-1.23
	食べ慣れ	0.63	-0.21	-0.46	-1.56
	評判	0.68	-0.27	-0.57	-1.26

(注1)非階層クラスター分析（k-means法）により分類。

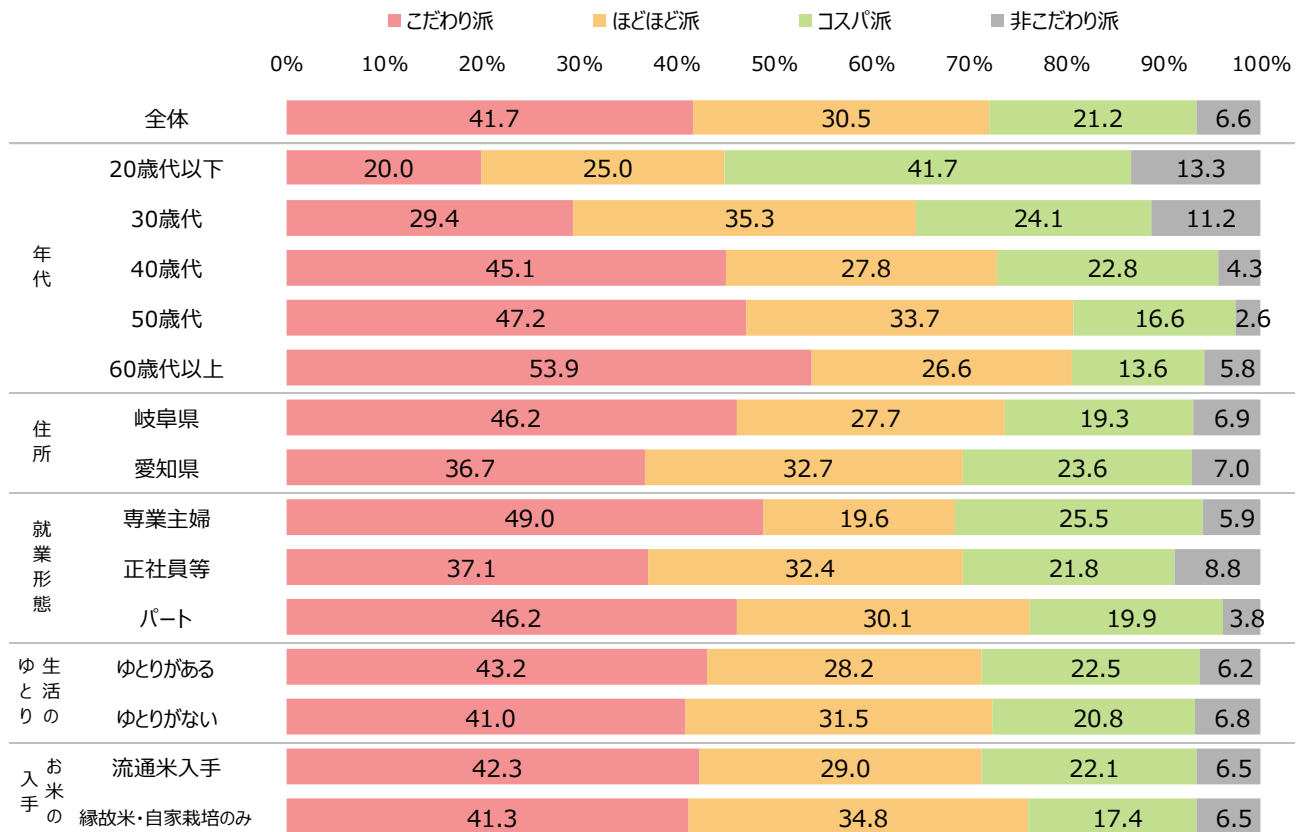
(注2)数値は「重視する」を5点、「やや重視する」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重視しない」を2点、「重視しない」を1点とし、項目同士で比較しやすいように基準化（個々のデータを平均値0、標準偏差1になるように変換）した平均値。

お米選びタイプの特徴

こだわり派	ほどほど派	コスパ派	非こだわり派
ほとんどの項目がプラスで、特に評判、産地、食べ慣れ、栄養価、精米日、新米、銘柄などが高い。一方で価格は平均並み。 お米の品質や信頼性など全般にこだわる層。	全体的にやや低めで、特に入手しやすさ、安全性、価格がマイナス。銘柄のみやや高め。 大きなこだわりはないが、ブランドはやや気にする層。	価格の数値が高く、安全性や入手しやすさもやや高い。一方、銘柄や産地などは大幅にマイナス。 価格の安さを重視で、ブランドにはあまりこだわらない層。	ほとんどの項目が大幅にマイナス。価格のみ平均並み。 全体的にお米へのこだわりが少ない層。

属性別に見ると、20 歳代以下はコスパ派、30 歳代はほどほど派、それ以外はこだわり派が最も高くなっている。また、こだわり派は年代が上がるほど高く、コスパ派は年代が下がるほど高くなっている（図表 6）。

図表 6 属性別お米選びタイプ



4. 妥当だと思うお米の価格

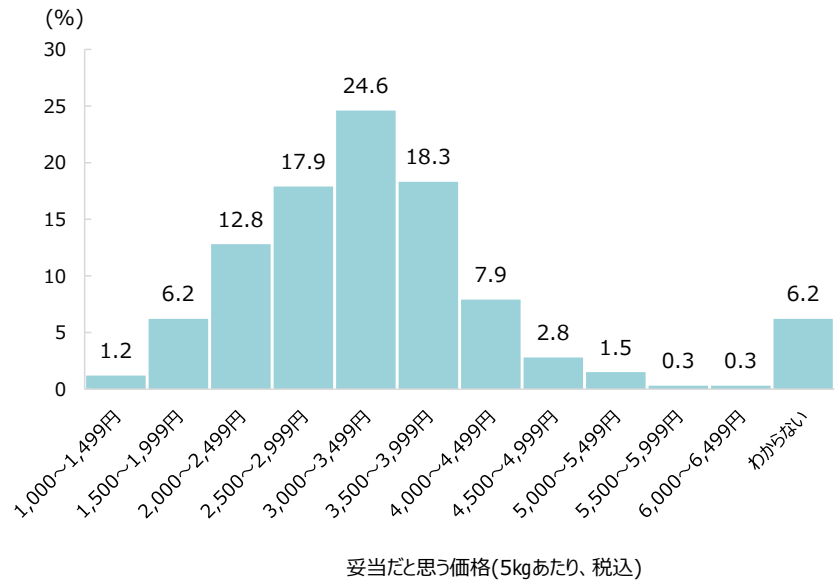
「お米の 5 kgあたりの価格(税込)はいくらぐらいが妥当だと思いますか」と尋ねたところ、「3,000～3,499 円」が 24.6%で最も高く、次いで「3,500～3,999 円」が 18.3%、「2,500～2,999 円」が 17.9%となった(図表 7)。

属性別に見ると、20 歳代以下は「4,000～4,499 円」、30 歳代、縁故米・自家栽培のみは「3,500～3,999 円」、非こだわり派は「1,500～1,999 円」、それ以外は「3,000～3,499 円」が最も高くなった(図表 8)。

また、各選択肢の真ん中の値を使って平均値を推定したところ、全体では

3,170 円となった。農林水産省が公表している、全国約 1,000 店舗のスーパーで販売された米 5 kgあたりの週次平均価格(税込)は、本アンケートの調査時点に近い 2025 年 11 月 10 日～16 日で 4,260 円だったが、それより 1,000 円以上低い水準となった。

図表 7 妥当だと思うお米の価格



図表 8 妥当だと思うお米の価格と平均値

		(%)												(円)
		1,000～1,499円	1,500～1,999円	2,000～2,499円	2,500～2,999円	3,000～3,499円	3,500～3,999円	4,000～4,499円	4,500～4,999円	5,000～5,499円	5,500～5,999円	6,000～6,499円	わからない	平均値
全体		1.2	6.2	12.8	17.9	24.6	18.3	7.9	2.8	1.5	0.3	0.3	6.2	3,170
年代	20歳代以下	0.0	1.6	9.7	12.9	17.7	16.1	19.4	3.2	1.6	0.0	0.0	17.7	3,456
	30歳代	0.0	9.3	12.2	19.8	20.3	20.9	5.8	1.7	0.6	0.6	0.0	8.7	3,091
	40歳代	2.4	4.8	15.0	16.2	24.6	18.0	7.2	5.4	0.0	0.0	0.6	6.0	3,154
	50歳代	2.5	6.9	15.3	18.7	27.1	14.3	5.4	3.9	2.5	0.5	0.0	3.0	3,093
	60歳代以上	0.0	5.3	9.4	19.3	27.5	21.6	9.9	0.0	2.9	0.0	0.6	3.5	3,265
住所	岐阜県	1.5	7.2	13.4	17.7	22.4	18.7	8.2	3.5	0.7	0.0	0.2	6.5	3,132
	愛知県	0.9	5.3	11.2	19.2	27.1	17.4	7.7	2.1	2.1	0.6	0.3	6.2	3,201
就業形態	専業主婦	0.0	3.5	14.0	8.8	26.3	19.3	19.3	0.0	3.5	0.0	1.8	3.5	3,432
	正社員等	0.8	6.1	12.5	17.9	21.2	18.6	8.7	4.1	2.0	0.3	0.3	7.7	3,222
	パート	2.0	7.4	13.4	20.5	27.5	17.4	4.7	2.0	0.7	0.0	0.0	4.4	3,031
生活のゆとり	ゆとりがある	0.0	4.7	11.2	19.8	20.3	17.2	9.5	4.7	2.2	0.9	0.4	9.1	3,302
	ゆとりがない	1.6	6.8	13.6	16.8	26.6	18.9	7.3	2.0	1.3	0.0	0.2	4.9	3,118
お米の入手	流通米入手	1.3	6.0	12.7	19.4	27.0	17.5	8.3	2.8	1.6	0.3	0.2	2.8	3,164
	縁故米・自家栽培のみ	0.6	5.8	13.5	12.9	16.1	20.6	7.1	3.2	1.3	0.0	0.6	18.1	3,211
お米選びタイプ	こだわり派	1.3	5.5	12.0	18.4	26.2	20.4	5.8	2.9	2.6	0.3	0.3	4.2	3,201
	ほどほど派	0.9	4.9	10.2	19.0	24.3	19.0	10.6	4.0	0.9	0.0	0.0	6.2	3,241
	コスパ派	1.3	6.3	19.0	17.7	27.8	15.2	7.0	1.9	0.0	0.6	0.0	3.2	3,034
	非こだわり派	2.0	18.4	10.2	16.3	10.2	12.2	8.2	2.0	4.1	0.0	2.0	14.3	3,036

(注1) 網掛けは各属性で最も回答率が高い項目。
(注2) 平均値は、500円刻みの各選択肢の真ん中の値を代表値とし(例えば「3,000～3,499円」なら3,250円)、回答数(「わからない」を除く)を重み付けて算出した推定値。

* 農林水産省「米の流通状況等について」 https://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/r6_kome_ryutu.html
(2026 年 1 月 6 日閲覧)

5. お米の価格上昇による変化

「お米の価格上昇により、あなたの購入や食べ方に変化はありましたか」と複数回答で尋ねたところ、「特にない」が38.6%で最も高く、次いで「より安価なお米を選ぶようになった」が21.3%、「パンや麺類など、ほかの主食を食べることが増えた」が18.7%となった。

属性別に見ると、コスパ派と非こだわり派は「より安価なお米を選ぶようになった」、それ以外は「特にない」が最も高くなった。お米の入手別では、縁故米・自家栽培のみは「特にない」（72.5%）が全体に比べて30ポイント以上高くなっており、行動変化に関する項目に関してもほとんどが全体を下回っている。一方、お米選びタイプ別では、コスパ派は「より安価なお米を選ぶようになった」（35.7%）や「政府の備蓄米を購入した」（28.0%）が、全体に比べて10ポイント以上高くなっている（図表9）。

図表9 お米の価格上昇による変化

		※複数回答(%)														
		より安価なお米を選ぶようになった	ほかの主食を食べることが増えた	特売・セールを利用するようになった	政府の備蓄米を購入した	お米を食べる量・回数を減らした	購入場所や入手方法を変えた	銘柄や品質にこだわらなくなった	もち麦などを加えてかさ増しした	ブレンド米を購入した	購入頻度を減らした	少量パックを選ぶようになった	無洗米や有機栽培米などにこだわらなくなった	輸入米を購入した	その他	特にない
全体		21.3	18.7	15.5	15.0	14.5	11.4	10.9	9.2	8.6	6.9	6.2	3.8	1.8	1.3	38.6
年代	20歳代以下	24.6	9.8	6.6	4.9	14.8	9.8	4.9	9.8	3.3	4.9	3.3	3.3	0.0	0.0	50.8
	30歳代	26.2	16.9	15.7	12.2	14.5	15.1	10.5	11.0	9.3	7.0	5.2	4.1	1.2	1.7	38.4
	40歳代	18.0	18.0	13.8	15.0	12.6	13.2	9.0	9.0	7.2	8.4	2.4	4.8	1.8	0.0	37.1
	50歳代	21.2	18.7	17.7	22.7	17.2	11.8	13.3	7.4	12.3	7.9	7.9	3.0	2.5	2.0	35.0
	60歳代以上	18.0	24.4	17.4	12.8	12.8	6.4	12.8	9.9	6.4	5.2	9.9	4.1	2.3	1.7	39.5
住所	岐阜県	18.5	20.3	14.5	15.8	15.3	13.0	10.5	7.5	7.8	7.3	5.8	3.3	1.3	1.8	41.0
	愛知県	25.2	16.4	17.6	13.8	14.4	9.4	11.4	12.0	8.8	7.0	6.7	5.0	2.3	0.6	34.9
就業形態	専業主婦	19.3	29.8	15.8	22.8	14.0	8.8	14.0	12.3	10.5	8.8	5.3	5.3	1.8	1.8	42.1
	正社員等	23.2	16.5	15.0	11.5	14.8	13.2	9.9	7.1	6.6	6.4	6.4	4.1	1.0	1.0	38.9
	パート	19.2	20.2	16.5	18.5	14.5	9.4	11.1	11.1	10.4	7.4	6.4	3.4	2.7	1.7	36.7
生活のゆとり	ゆとりがある	19.0	12.1	11.6	15.9	7.8	10.3	9.9	8.2	6.5	5.2	4.7	1.3	0.9	1.7	46.1
	ゆとりがない	22.3	21.6	17.0	14.7	17.4	11.7	11.2	9.7	9.5	7.5	6.8	4.9	2.2	1.1	35.3
お米の入手	流通米入手	26.1	20.5	19.2	18.6	16.4	13.2	13.5	10.6	10.7	8.5	7.5	4.7	2.1	0.8	29.6
	縁故米・自家栽培のみ	3.9	12.4	2.0	2.0	6.5	3.9	1.3	3.9	0.7	1.3	0.7	0.7	0.0	2.6	72.5
お米選びタイプ	こだわり派	16.5	20.1	17.2	11.3	16.2	11.3	9.1	9.1	5.2	7.4	7.1	5.2	1.0	1.3	41.1
	ほどほど派	15.9	15.5	15.5	11.5	11.1	12.8	9.3	6.6	10.6	6.6	5.8	1.3	0.4	0.4	42.9
	コスパ派	35.7	26.8	17.2	28.0	20.4	13.4	18.5	16.6	14.6	8.9	7.6	3.8	3.2	1.3	21.7
	非こだわり派	40.8	4.1	8.2	22.4	8.2	8.2	14.3	6.1	8.2	2.0	2.0	6.1	8.2	2.0	38.8

(注1)太字は各属性で最も回答率が高い項目。

(注2)全体との差が、■は+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は▲10ポイント以下、■は▲5ポイント以下。

6. お米の価格上昇の受け止め

「お米の価格上昇について、あなたはどのように受け止めていますか」と複数回答で尋ねたところ、「家計への負担が大きい」が65.2%で最も高く、次いで「価格が高すぎると感じる」が51.0%、「今後の値上がりが不安」が47.7%となった。

属性別に見ると、60 歳代以上は「価格が高すぎると感じる」、それ以外は「家計への負担が大きい」が最も高くなっている。また、年代別では、60 歳代以上は「農家の収入につながる」が 31.8%と、全体（21.0%）に比べて 10 ポイント以上高くなっている。一方、お米の入手別では、縁故米・自家栽培のみは「家計への負担が大きい」「価格が高すぎると感じる」「今後の値上がりが不安」が全体に比べて 10 ポイント以上低くなっている（図表 10）。

図表 10 お米の価格上昇の受け止め

※複数回答(%)

		家計への負担が大きい	価格が高すぎる	今後の値上がりが不安	農家の収入につながる	政府や生産者の対応に注目	値上がりに納得できない	お米の価値が見直される	品質がよければかまわない	他の食品よりは安い	その他	特にない
全体		65.2	51.0	47.7	21.0	20.0	13.3	7.5	4.8	2.4	0.6	5.2
年代	20歳代以下	58.1	37.1	45.2	12.9	14.5	8.1	8.1	3.2	0.0	3.2	9.7
	30歳代	71.1	45.1	43.4	15.0	17.3	11.6	5.2	6.4	0.6	0.0	7.5
	40歳代	72.6	52.4	53.0	19.6	18.5	8.3	6.5	3.6	3.0	0.0	4.8
	50歳代	66.5	56.7	48.8	20.7	21.7	14.3	10.3	5.4	2.5	1.5	3.4
	60歳代以上	52.6	53.8	47.4	31.8	24.9	20.8	7.5	4.6	4.6	0.0	4.0
住所	岐阜県	61.9	51.2	48.8	22.0	17.6	14.9	7.4	4.5	2.5	0.2	6.2
	愛知県	69.5	53.1	46.6	20.5	21.1	12.6	7.9	5.0	2.3	1.2	4.7
就業形態	専業主婦	57.9	52.6	49.1	29.8	28.1	14.0	5.3	3.5	3.5	0.0	1.8
	正社員等	63.0	46.1	44.8	17.7	17.2	12.9	7.1	7.1	2.0	0.8	6.1
	パート	69.9	57.5	51.5	23.7	22.1	12.7	8.4	2.0	2.7	0.3	4.7
生活のゆとり	ゆとりがある	47.8	44.0	41.4	26.7	21.1	10.8	10.8	7.8	3.0	1.3	7.8
	ゆとりがない	72.4	54.2	50.4	18.5	19.6	14.4	6.2	3.6	2.2	0.4	4.2
お米の入手	流通米入手	72.7	56.9	53.5	20.5	21.1	15.8	7.5	4.6	2.1	0.5	1.8
	縁故米・自家栽培のみ	39.1	28.8	26.9	23.7	14.7	3.8	8.3	6.4	3.8	1.3	17.3
お米選びタイプ	こだわり派	68.1	57.1	50.0	20.6	20.6	13.9	10.0	5.8	2.3	1.0	3.9
	ほどほど派	61.1	42.5	50.9	21.7	19.5	14.6	7.1	5.8	4.0	0.4	6.6
	コスパ派	72.8	59.5	48.7	21.5	23.4	12.0	5.1	3.2	1.3	0.6	1.3
	非こだわり派	61.2	40.8	38.8	10.2	6.1	14.3	4.1	0.0	0.0	0.0	14.3

(注1)太字は各属性で最も回答率が高い項目。

(注2)全体との差が、■は+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は▲10ポイント以下、■は▲5ポイント以下。

7. お米についての意見（一部抜粋）

- 毎日食べるものなので、少しでも価格が下がると助かります。(40 歳代)
- 銘柄がちがえば味もちがう。価格があがってもなるべく食べ慣れたものを食べたいが、現状だとなかなかむずかしい。(50 歳代)
- お米の価格が高くなったため、お米を大事にするようになった。以前は、食べきれなかったら捨てていたが、今は、捨てずに食べ切るようになった。(60 歳代以上)
- 日本人は主食がお米なので、常に安定した価格で流通してほしい。(60 歳代以上)
- 主食なので、高くても買う。高くてもおいしいものを買いたい。(40 歳代)
- 主食となるお米の価格が上がると負担が大きくなるので、少しでも安いと有り難いです。(30 歳代)
- 長い時間をかけて作るものなので、農家の方の収入となるなら値上がりも受け止めるべきだと思う。(30 歳代)
- 今までが安すぎでした。農家が安心して続けられる価格を願います。(40 歳代)
- 好きな銘柄があるので、安く買えればもちろん嬉しいが、農家さんが減っていく中、続けてくださる方々に利益がきちんといくのであればいくらでも買います！！(40 歳代)
- 農家の方々の収入が増えてきているならよいが、そうでないのであれば以前の価格帯になってほしい。(40 歳代)
- 価格上昇は仕方ないと思うが、その上昇分が農家の方に還元されているのか不透明なところがあるので、中間業者を減らすなど政府は対策をもっとしてほしいと思います。(50 歳代)
- 今まで家でお米を作っていたが、今は農協で作ってもらっています。農家さんの大変さがよくわかるので、農家さんの収入が増えるといいなと思います。(60 歳代以上)
- 生産者なので、買取り価格が上がるとよい。(50 歳代)
- 今の金額は安心して買える金額ではない。生産者が減っていくので、減反してはいけなと思う。(50 歳代)
- 買占めや転売防止の強化をもっと厳しく取り締まってほしい。(50 歳代)
- 日本のおいしいお米を無駄にしないよう、在庫管理などしっかりと行なって、輸入に頼らなくても良い様にして欲しいと思います。(50 歳代)
- 東北をはじめ、地方での熊の出没が、今後米をはじめとした農作物の値上りにつながるのではないかと不安に思う。(40 歳代)
- 備蓄米を買うこともできないし、放出しても価格が下がるわけでもない。政府が農協から買い付ける価格がおかしい。(60 歳代以上)
- 備蓄米は香りがよくなかったが、慣れとはよくいうもので気にならなくなった。しかし新米は美味しかった。(50 歳代)
- 新米の値段が安価になり、備蓄米を購入しなくてもよいようにしてほしいです。(60 歳代以上)
- 今話題のお米券。うちは米を栽培しているので必要ないが、そういう家庭にも配布予定なのか、気になる。(50 歳代)
- 高すぎる。新米が出ても価格が変わらないのが疑問です。(20 歳代以下)
- 自分も子供もお米は大好きなので、おいしいお米をたくさん食べたいです。その為には、以前のように 5 k g 2 千円代で購入できるとありがたい。(40 歳代)
- 子どもの成長の要なので、できるだけ安定的に安く仕入れたい。(30 歳代)
- 今はまだ家計が苦しくないで気にせず購入していますが、子供たちの給食など影響がでけると困ります。(30 歳代)
- お米は主食であり、子供たちの成長にはかせません。体調が悪くなりやすいので、あまり小麦（うどん、パン）ばかり食べさせたくないと思っています。(50 歳代)
- 自身の分だけでなく、子供達にも分け与えているので負担が大きい。もう少し価格が安価になればと思います。(60 歳代以上)
- 飲食店でご飯おかわり無料制度が少なくなったのが悲しい。(20 歳代以下)
- 親戚の生産者が高齢のため米は生産せず、昨年からお米を購入しないといけなくなり残念。(40 歳代)
- 親戚からお米を買っているの、ありがたいことに困っていることはありません。(30 歳代)
- 実家で米を作ってもらっているので、ありがたみを感じている。(30 歳代)

以上